



基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とこころをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

# JUSTICE

自らを変える!! 明日を創る!! **イーストイノベーション**

ジェイアール・イーストユニオン  
 発行者 菅野 一位  
 編集者 教 宣 部  
 〒105-0021  
 東京都港区東新橋2-8-28  
 TEL(J R) 057-7333  
 TEL(NTT) 03-6452-9687  
 ホームページ検索  
 「JREユニオン」

7月4日に公示される第25回参院議員選挙で、菅野中央執行委員長が、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。

### 菅野一位中央執行委員長挨拶(要旨)



菅野中央執行委員長

菅野一位中央執行委員長は、7月4日に公示される第25回参院議員選挙で、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。

### 次のステージへと駆け上がるために!

菅野中央執行委員長は、7月4日に公示される第25回参院議員選挙で、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。

7月3日、中央本部は「第7回定期大会」を都内田町交通ビルに於いて開催し、大会構成員、来賓、傍聴を含め約60名が参加した。大会議長には、瀬藤代議員(新潟)が選出され、真摯な討議により、提起された令和元年度運動方針などの各議案、大会スローガン、大会宣言は満場一致で採択され、大会は成功裡に終了した。

質疑では組織拡大へ向けた決意、変革2027を踏まえた多くの施策提案に対する職場の現状など多くの意見が出され、国井事務局長の総括答弁の後、各議案は満場一致で承認された。役員改選では、菅野正和 新事務局長が選任されたほか、執行委員には4名の中堅組合員が新任となり、まさに、新たなステージを迎えた重要な大会となった。

## ジェイアール・イーストユニオン 第7回定期大会

### 民主的労働運動を次代に引き継ぐため 変革を巻き起こし、組織拡大に全力で取り組みよう!

菅野中央執行委員長は、7月4日に公示される第25回参院議員選挙で、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。

### 安全はチェック機能の発揮と信頼に基づく議論が大切!

菅野中央執行委員長は、7月4日に公示される第25回参院議員選挙で、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。

菅野中央執行委員長は、7月4日に公示される第25回参院議員選挙で、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。

菅野中央執行委員長は、7月4日に公示される第25回参院議員選挙で、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。菅野委員長は、国会に出席し、議員としての責務を全うするとの決意を表明された。

「来賓の皆様」



退職者連絡会 大場益雄副会長  
交運共済東日本 松井正義事業本部長  
井上英治春日部市議 会議員  
川合孝典参議院議員

大変お忙しい中、駆けつけてくださいました皆様には、多くの激励のお言葉をいただきました。また、激励メッセージなどもお寄せいただいた皆様を併せて、心より厚く御礼を申し上げます。有難うございました。

大会には J R 連合から、荻山市朗会長、中山耕介組織・政治部長からご列席いただき、J R 連合への総結集へ向け、熱いエールをいただいた。

「J R のど真ん中の労働運動」を押し進める!



J R 連合 荻山市朗会長

**J R 連合 荻山会長挨拶(要旨)**

今回会長として 8 年ぶりに産別に戻った。西労組時代に当時、1995 年には東新労、グリーンユニオンが区事件があり、浦和、三鷹電車区とともに闘ってきた。これからの正念場である。8 万 3 千の仲間、100 加盟組合が、J R を代表する産別として共に運動を進める。

先第 28 回定期大会で新執行部を確立したが、専従の 6 名全員が J R 採用となった。全員がアグレッションに活動していくので支援をお願いする。J R 産業に働く仲間の総結集をキヤッチアップに頑張っていく。

東日本では東労組が瓦解寸前。イーストは少数派だが、同様に北海道、貨物についても、すでに J R 総連との差別化は終わったと考える。政策や仲間の絆を大切にして、産業、労働について考えること。安心して働ける職場環境を創ること。それは労働関係の構築が重要である。「J R のど真ん中の労働運動」を内外で提起していく。本場として、また、格差がある中、置き去りにされている。

従来の民主化闘争は当然であり、間違いなく前進している。7 割が未加入となっているが、経営側はあるべき労使関係など全く理解できていない。変革に向け立ち向かう。主役は社員である。上意下達ではならない。ボトムアップで活き活きと働ける環境づくりをしていく。変革 2027 は正しい。かもしれないが、働かせない。イーストユニオンが、そして J R 連合が、しっかりと受け皿として総結集をめぐらし、うねりを創り出そう。バクトルを合わせ、しっかりとタッグを組んで行こう。

質疑応答(発言要旨)

安全問題と施策提言及び組織課題など 13 名が発言



瀬藤正樹大会議長

多くの自然災害について、日頃からの備えと対策が重要。安全も同様である。多くのご迷惑をかけた輸送障害で、国交省より異例の警告を受けた。ヒューマンエラーは結果であり原因ではない。原因究明と技術継承・教育がなされているか、検証が重要である。



2027 年に向けての技術継承、人材育成が問われる時である。また、安全・安定輸送の確保は、グループと一体となった技術継承が必要である。会社との議論が重要となつていく。会社は社友会を相手に掲示だけで済ませない。労働組合は交渉の場で議論することにある。お客さまを第一に、社員のお客さまを第一に、「チームワーク」で考える安全「グループ」が一体となつて取り組むことが、信頼され安心される会社となる。そうしたら取り組みが組織拡大に繋がるものと考えよう。

東労組が瓦解して以来、正しい労働組合運動の必要をより感じていく。技術継承がなっていない。会社現場は殺伐としている。会社施策が次々に変わり、支社・右習えで、現場は明るく笑顔溢れる職場からは程遠い。営利目的の企業になつてはならない。グローバル化を言いつつ、一足飛びに

向かうとして、地方では難しい。チェック機能を発揮していかねばならない。

変革 2027 については、人口減少、働き方改革、自動運転など社会的な課題がある中、固定費により圧迫する従来の鉄道事業を、国鉄改革の精神で臨んで行く必要がある。変わらない。変わるべきは、先輩方の運動を学ぶ場を作ることも大切。真に民主的な労働運動、あるべき労働組合を創っていく。これからの仲間、J R E ユニオンの運動の継承を図っていく決意である。

急速な世代交代の中、30 年に向けての技術継承、人材育成が問われる時である。また、安全・安定輸送の確保は、グループと一体となった技術継承が必要である。会社との議論が重要となつていく。会社は社友会を相手に掲示だけで済ませない。労働組合は交渉の場で議論することにある。お客さまを第一に、社員のお客さまを第一に、「チームワーク」で考える安全「グループ」が一体となつて取り組むことが、信頼され安心される会社となる。そうしたら取り組みが組織拡大に繋がるものと考えよう。

クト参加では矛盾がある。人材育成に関わることで、自分の将来像が見えないと上司に相談しても何も答えがない。そうした社友会からの発信が、どうか、職場からやっつけていきたい。

一部の運動現場には東労組が多く残っていて、未だ牙城である。こうした現状を変えなければならぬ。そうした考えも少なからずある。俯瞰では瓦解して、ううした現状もある。J R 連組合を最大限アピールし、第一組合をめぐらしていこう。

若手の脱退組には組合不

- 大会代議員
- 【関東】
    - 大和田義雄・和知利昭
    - 小林篤史・高橋佳昌
    - 鮫島 毅
  - 【仙台】
    - 添田寿男・鈴木義一
    - 斎藤勝彦・青田節雄
    - 橋 伸幸・橋本康男
    - 大塚俊彦・瀬戸信作
    - 清水孝雄
  - 【新潟】
    - 神田広栄・小林徹志
    - 池田庄一・瀬藤正樹
    - 金田友稔・高木義憲
    - 鈴木雅明・高橋基逸
    - 南雲春彦・渡辺敏昭
    - 渡辺 勝
  - 【特別代議員】
    - 大泉浩康(管理部会)
    - 船山勝広(設備部会)
    - 柄窪吉則(営業部会)
    - 日光 忠(運転部会)

